



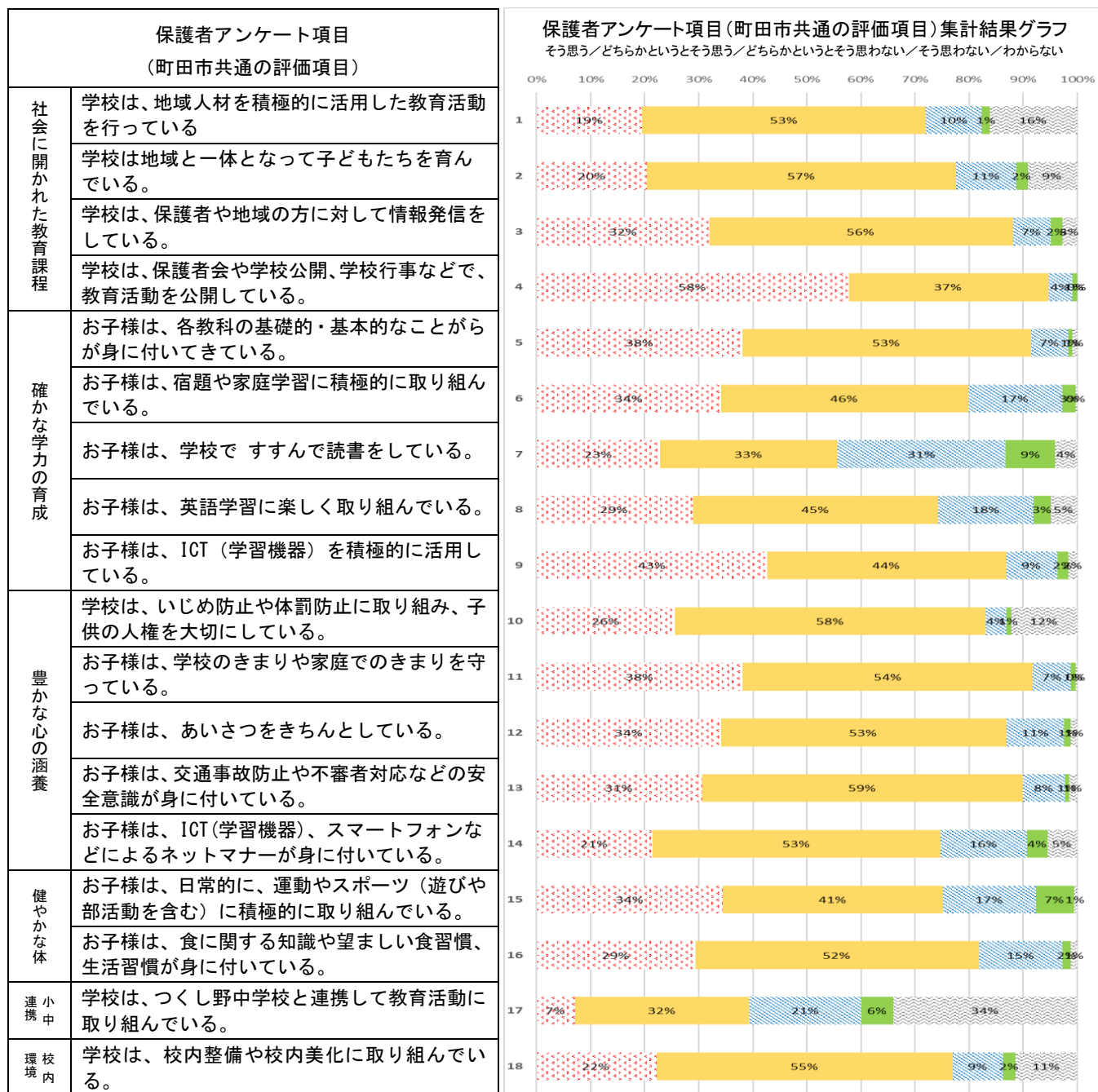
2023年3月10日
町田市立南つくし野小学校
校長 平田 勇治
学校評価アンケート特別号

学校評価保護者アンケート集計結果のご報告

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

保護者の皆様には、大変お忙しいところ学校評価のアンケートにご協力いただきありがとうございます。保護者アンケートの集計結果がまとまりましたのでご報告いたします。

今年度の回答率は70.2%（回答数551）で、前年度より9.2ポイント上昇しました。学校は、保護者の皆様の声を受け止め、子供たちにとってよりよい学びの場となるように教職員全員で検討し、来年度の教育活動に生かしてまいります。尚、町田市共通の評価項目については、町田市教育委員会に提出しました。町田市の教育施策の検証及び方針策定等に活用されます。



【自由記述欄の意見より】

今年度は、With コロナに向けて皆様のご理解とご協力をいただきながら、段階的に制限を緩和して教育活動を実施いたしました。その結果、子供たちがのびのびと活動する姿が多くなったことや、保護者の皆様に来校していただく機会が増えたことなどにより、肯定的な意見を多くいただきました。すべてのご意見に回答することができませんが、複数意見を中心にお答えします。〇クラスルームについては、情報発信ツールとしての積極的な活用を望む意見と連絡手段として使われているのが本来の使い方ではないという意見をいただいています。今後、クラスルームの運用方法について整理し、担任と保護者様の共通理解を図りながら使用いたします。〇コロナ禍により校外学習や体験的な学習の機会が減った。以前のように増やしてほしいという意見については、今後の社会情勢を踏まえて前向きに検討いたします。〇運動会の観覧しやすさや時間の配慮を望むについては、今後の児童数増・校庭面積の減少などを踏まえて検討いたします。〇通常学級における特別支援教育を推進してほしいについては、ユニバーサルデザインの授業づくりを中心に推進いたします。〇地域活動スポーツの実施については、開校時の学校周辺住民の方との誓約から難しい状況です。〇学校公開を増やしてほしいについては、年間計画の中で合理的にバランスよく学校公開を設定いたします。個別になります。〇個別に学校の様子をお見せすることもできますのでご相談ください。〇学年で情報共有をしてほしいについては、学年会の他、日常的に情報交換をするようにいたします。〇体育着の着替えについては、下着の上に体育着を重ねて着ることもできます。その他、個別の配慮については柔軟に対応いたしますので担任までご連絡ください。〇電話回線の増設、生活指導補助者の期間延長、特別支援教育支援員の増員、トイレ委託業者清掃回数の増加、教育相談員の設置については、市へ要望いたします。〇コロナ感染症に関する情報発信については、町田市の方針により当該クラスのみとなっています。方針が変わり次第お知らせいたします。〇ナビマに加えてドリルを購入することについては、市の方針により購入していません。方針が変わり次第検討いたします。〇35人学級の定数をさらに引き下げることや、紙の教科書からデジタル教科書に移行するについては、今後、国の方針が示されましたらお伝えいたします。皆様のご意見を真摯に受け止め、今後の教育計画に生かしてまいります。全体を通して何かあればお問い合わせください。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

【評価項目の改善の方向性】

1	ボランティアコーディネーターを中心に、地域・町田市・企業等のゲストティーチャーによる出前授業や体験的な活動を全学年及びすぎな学級で実施しました。体験的な学びの充実に向けて実施内容と回数を検討します。
2	町会、民生・児童委員、健全育成地区委員、警察署、消防署等と連携・協力し、登校見守りや防災教育などの活動を行いました。今後も子供たちのよりよい成長のために、安全・防災の取組を推進します。
3	学校ホームページ、学校・学年・学級だより、学級クラスルーム、一斉メールを活用した情報発信を行いました。今後も子供たちの様子や必要な情報についての発信を継続いたします。
4	感染対策を講じて、運動会・展覧会の観覧、授業参観を実施しました。2学期以降はWith コロナに向けて段階的に制限を緩和しました。授業参観でのオンライン併用の継続を希望する等の意見をいただき、前向きに検討いたします。
5	今後も各教科の基礎的・基本的な内容が着実に身に付くように指導法の改善を行います。子供たちが主体的に学習に取り組む、自分の考えを友達と意見交換しながら深めていく対話的な学びに向けた授業改善を推進します。
6	漢字練習や音読、ナビマを活用した家庭学習を行っています。子供の発達段階に合わせて新聞やニュースを活用した学習、ICTを活用した調べ学習なども併用しながら、家庭での学習意欲を高めるように働きかけます。
7	読書タイム、図書時間、読み聞かせ、ブックトーク、学級文庫など、子供たちが本に親しむ機会や、自分で本を選んで読む時間を意図的・計画的に行っています。本好きな子供が育つように今後とも活動を工夫します。
8	1～4年生の外国語活動、5・6年生の英語科では、デジタル教科書を活用し、リズムに合わせて発音したり英語を使ってゲームをしたりしながら、楽しく英語を学び、学んだ英語を使うように工夫しています。今後も英語を学ぶのが好きな子供が育つように授業改善を行ってまいります。
9	児童の発達段階に合わせて授業でのタブレット端末の活用頻度を増やしています。子供たちのICT活用スキルが高まりました。今後は、情報モラルを高めるとともに情報活用力の育成を目標にICT活用を推進してまいります。
10	子供たちの普段の様子の変化や心のアンケートからいじめの兆候を捉え、把握した内容をいじめ対応チームで共有し、組織的に対応しています。今後もいじめ、体罰・暴言は、絶対許されない行為として子供の人権を守ります。
11	先生の話素直に聞き、学校のきまりを守る子供が多いです。今後も道徳や学級指導の時間などで「何のためにきまりがあるのか」を考えさせ、自らきまりを守るように子供が育つように指導いたします。
12	自ら進んで挨拶できる子供が育つように、全学級で指導しています。今後も全校朝会や代表委員による挨拶運動など、挨拶に関する取組を計画的に行います。
13	警察と連携した横断歩行訓練や自転車安全教室の他、毎月の避難訓練や安全指導を通して、交通安全、不審者対応など自分の身を自分で守ることを指導しました。今後も危険を予測し、回避できる子どもの育成に努めます。
14	中・高学年でインターネットを使用するときの情報モラルを学びました。今後は、社会の情報技術の進展に合わせて教材を工夫したり、外部講師による授業を増やしたりして情報モラル教育を充実します。
15	2学期以降はWith コロナに向けて段階的に制限を緩和し、縄跳びや持久走の運動旬間を計画的に実施しました。3学期からは、外遊びの制限を緩和し、多くの子供が外で遊ぶようになりました。今後も運動することが楽しいと思う子供が育つように、日常的な運動の機会を増やします。
16	季節や行事にちなんだ給食を計画的に提供しています。「給食室からのお知らせ」や家庭科授業で、食に関する文化や健康についての理解を深めています。今後も給食の時間を中心に望ましい食習慣が身に付くように指導いたします。
17	今年度も6年生のつくし野中学校訪問、すぎな学級のつくし野中学校交流会、教育課程や教育内容の情報交換を行いました。次年度は、本校の授業を公開し、中学校教員と意見交換する研修会を計画しています。
18	日々の掃除活動、学校用務員による清掃、委託業者によるトイレ清掃(週1回)、施設の定期的な点検と修繕を実施し、校内美化・校内整備に努めています。3学期からコロナ禍により制限していた美化委員会の活動を徐々に再開しました。今後も清潔で安全な学校づくりを推進します。